WEEKLY REPORT

雲南省での料理

＜米山記念奨学会委員　中原委員長＞

ようこそ松戸北ロータリークラブへ
建築科ということで私も建築の専門でございます。日本の建築の技術は世界最高です。
なぜかというと日本は地震の国であります。
過去に何回も地震を経験し、その都度特に構造的な強度は研究しており丈夫になっております。
日本では鉄の成分で不純物がなくなり超高層ができるようになりました。
たまたま私の方にも理科大学の蒋さんの先輩もおられ、そんなことも頭に浮かびました。ありがとうございました。

＜第2790地区　地区大会 in 幕張　第2411回 移動例会＞

幕張にて第2790地区の地区大会2日目に参加致しました。
国際ロータリー会長代理DKLee様、熊谷千葉県知事様の挨拶から始まり、千葉経済大学附属高等学校吹奏楽部のフレッシュな演奏などが御座いました。
午後には銚子電気鉄道株式会社、代表取締役の竹本様より大変素晴らしい基調講演が御座いました。
経営者がほとんどの我々ロータリアンにとって胸打たれる内容でとても感動しました。
絶対にあきらめない!地域とともに存続を目指す銚子電鉄の挑戦はとても心に響きました。

《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士　社会奉仕基金：2850円

Rotary　2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

1・真実かどうか
2・みんなに公平か
3・好意と友情を深めるか
4・みんなのためになるかどうか

例会出席率　67.6%

第2411回移動例会 / 第2412回例会2023年10月25日

■国際ロータリー会長　ゴードンR. マッキナリー
■第2790地区ガバナー　鵜沢　和広
■第13Gガバナー補佐　鈴木　悦朗
■松戸北ロータリークラブ会長　小澤　直之
■松戸北ロータリークラブ幹事　髙橋　一彦
■ 例 会 日 - 毎週水曜日12：30より（第1例会18：30）
■ 例 会 場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■ 事 務 所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13　ｻﾝﾗｲｽﾞﾊｲﾂ101
■TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
■Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜会長挨拶＞

皆様こんにちは。

まず、日曜日朝早くから地区大会の方にご参加いただきましてありがとうございました。
今回銚子電鉄の社長の基調講演がありました。

非常に感動する話がありまして、私が入会して8年目になり地区大会に参加していたのですが今までで一番笑って感動したという風に感じました。

銚子電鉄というとメディアでも放送されているので皆様目にしたり耳にしたりしていると思いますが実際生で見ると非常に引き込まれる内容で良い体験をしました。

地区の方でもしアップロードされるようなことがあれば皆さん是非見ていただきたいと思います。本日は米山奨学生の蒋江行さんに卓話を頂戴することになっております。
時間の都合上会長挨拶は割愛させていただきます。
地区大会では今回ロータリー米山奨記念奨学会に関する創立特別寄付クラブとして地区プログラムに掲載されております。

＜第2790地区　米山奨学会奨学委員会　委員　川村様　ご挨拶＞

松戸北クラブの皆様こんにちは。
第2790地区米山記念奨学委員の川村と申します。所属は柏クラブです。
この度は卓話にお招きいただきましてたいへんありがとうございます。

奨学事業について現状を少しお話させていただきます。米山奨学金の主な目的は奨学生の育成になります。
毎年非常に厳しい選考の中、狭き門ということで奨学生の方が誕生します。
まず各大学による大学推薦、その中の方が集まってロータリーの中の選考となります。
学業の優秀さ、能力というのはもちろんですがそれに加えてコミュニケーション、異文化に関する熱意、前向きな姿勢・態度などを選考基準させていただいています。
社会貢献の意識を育て将来的には国際ロータリーが理想とする国際平和の創造、貢献してほしいという期待がされています。

WEEKLY REPORT

＜寄付金について＞
寄付金は2種類あります。
1つは普通寄付金です。各クラブから半期に1度ずつ定期的に頂いています。
もう1つの特別寄付金は個人であったり法人であったり、各クラブ、もしくはロータリー関連以外の方から広く募っております。
金額の下限上限はありません。
今年鵜沢ガバナーから一人年間1万5千円を目標に募っております。
広く寄付金を募っております。ご協力をお願いいたします。

＜卓話　蒋江行（ショウ・コウ・コウ）さん＞

将さんは我孫子ロータリークラブに支援いただき、現在は東京理科大学修士課程、建築学を専攻しておられます。

将さんは中国雲南省出身で山が多いところで少数民族が多く文化、建築、食べ物、など様々で料理は松茸など山で取れた食材を使った美味しい料理が多いそうです。

大学では建築の根底を学び、プロジェクトに参加し優秀賞を受賞されたり、ボランティアに参加されたりインスピレーションを受けたりしながら勉学に励んでおられる優秀な方でした。

日本語も堪能でこれからの活躍が期待される好青年でした。